

DSJ2018「デジタルサイネージジャパン2018」レポート

6月13日(水)～15日(金)、幕張メッセで開催された「デジタルサイネージジャパン2018」。3日間で約14万4千人(※)の来場者を迎えた。PDCは「おもてなしAI・IoTサイネージ/空間を演出する内装ソリューション」をテーマに出展。その模様を報告します。※同時併催イベント含む



▲ 入場ゲートから目をひく空間演出ソリューションが展示されたPDCのブース
LED照明と高精細LEDビジョンが連携し、花や滝の美しい映像を放映。▶
映像の色合いにLED照明が連動して、淡い光を放ちます。

入場ゲートから目を引く空間演出ソリューションが展示されたPDCのブース

■ 映像とシンクロする照明で空間演出

映像の色彩情報を処理して、デジタル照明装置にリアルタイムで反映。LEDビジョンと、その映像の一部のように変化する照明で、表情豊かな空間が演出できます。

LEDビジョンの展示が多い会場において、LEDビジョンと光演出に対応した照明システムが人目をひきました。PDCではお客様のニーズに合わせて空間演出の提案を行っております。

■ SNSでのリアルタイムなユーザの声をサイネージに

デジタル化したライフスタイルの多様性とそれに対応するサイネージ技術の融合。その提案として、SNSに投稿された記事や写真のコンテンツをサイネージに放映しました。来場者によるSNSの「#デジタルサイネージジャパン」という投稿を収集し、LEDビジョンに表示する記事を選択するシステムのデモを行いました。どのくらいの頻度でコンテンツを更新するのか、情報管理の方法など、質問をする来場者の方もいらっしゃいました。

LEDパネルユニットは薄く軽量なので、限られた場所での設置も可能▶

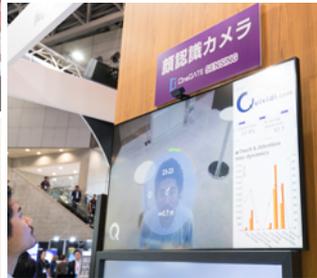


AI・IoT 技術を利用した”おもてなし”サイネージ

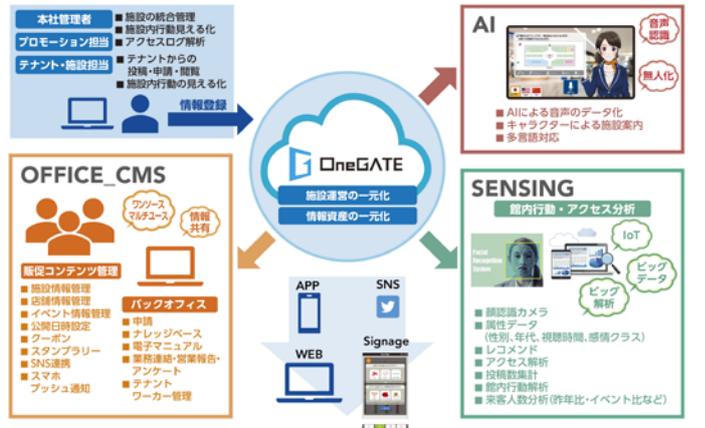


▲ AIコンシェルジュのイメージキャラクター「かずみ」ちゃん

顔認識カメラによりデジタルサイネージ視聴者の属性・感情データを分析



OneGATE ソリューション



▲ サービスプラットフォーム「ONEGATE」の機能や特徴をわかりやすくパネルで紹介

働き方改革を実現するAIコンシェルジュ

AI技術を活用したサイネージは今、注目を集めています。AIコンシェルジュのコーナーには、観光施設や商業施設向けのシナリオのデモを展示し、多くの体験デモを希望する方にお越しいただきました。キャラクターに話しかけた反応や、表示される情報の内容などについて質問されていました。「観光案内の多言語対応の必要性を感じているが、その人材を確保するのは大変」と語る来場者の方には、弊社スタッフがAIコンシェルジュによる人手不足の課題解決について説明していました。

施設プロモーションの可能性を広げるPDCのアプローチ

”デジタルサイネージ・SNS・WEB・アプリ”の情報登録や配信、運営管理、分析といった作業を一括で管理でき

るのが、PDCの「サービスプラットフォームONEGATE」です。今回の展示会では、管理画面のデモを行いました。また、セールスプロモーションや効果的なサイネージ運営などの施設プロモーション事業もパネルで紹介しました。日々進化するデジタル技術のなかで、デジタルサイネージが新しいメディアとして活用でき、様々な業界、業態の問題解決に役立つことを周知していただく展示でした。

顔認識カメラによる視聴者属性データの活用

顔認識は、今や各社取り組んでいる技術ですが、PDCではその取得した情報を活用し、サイネージの視聴者効果測定の提案を行っております。展示コーナーでは、顔画像を瞬時にデータ化(画像は破棄)し、性別・年齢・視聴者数・視聴時間を測定できる点を紹介いたしました。

専門セミナーに当社SB部マネージャーの鎌田翔がパネリストとして登場

専門セミナーに当社SB部マネージャーの鎌田翔がパネリストとして登場。最終日6月15日、「クロスメディアにおける実践的サイネージの活用とは〈SCにおける販促のデジタルシフト〉」と題した専門セミナーが行われました。PDCからは、霞が関ビルディング50周年イベントなどの実例を紹介。また、AIコンシェルジュの今後の展望にも言及。サイネージのSCでの販促活用最先端ということで、開場一番のセミナーで雨にもかかわらず、立ち見も出るほどの盛況でした。

